

かぜのきざし

2015 JUNE

風の萌

特定非営利活動法人(NPO)

在宅ケアを支える診療所・
市民全国ネットワーク機関紙

第030号

2015年6月25日

安心して子育てができ 老いても障がいがあっても 自分らしく暮らすことができる コミュニティーの創造

リレー寄稿

地域と融合する人生、それが私の宿命

すべての人に居場所と出番のある街づくりを、堀田聰子

副会長 長縄 伸幸

リレー寄稿の三回目です。今回は長縄副会長より頂きました。リレー寄稿を通したテーマはありません。しかしながら、「自由な」テーマあっても、その中から何か見えるものがあり、それが当NPOの今後の方向性へとつながるものがあると感じ、今後少なくともコアメンバー内で「思いの縛」を繋げて行きたいと望んでおります。

地域と私(達)

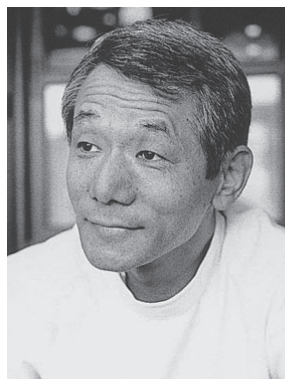
私の人生は農家の4代目の長男として生まれた時から決まっていた。田園に囲まれた豊かな自然とその中でともに生きることを教えてくれた良きパートナー「犬、猫、牛、豚、鶏、鳩、うさぎ、カブトムシ・チョウチョウなどの昆虫、ザリガニ・ウナギ・鯉等」とのコラボレーションが私の少年時代の宝です。昭和22年生まれの私たちは団塊の世代は、戦禍の名残りある少年時代からやがて世界に類を見ないスピードで躍進しつづける日本の牽引を担う運命となりました。そのため地元を離れる同僚も多い中、私は田舎の長男という呪縛から逃れる事はありませんでした。大学も妻も生まれ故郷にほど近い名古屋市立大学、大垣市出身者を無意識に選んでいました。

は、幼い時からの居心地の良さと地域における先祖の存在感・私に対する熱いまなざし(プレシャー)でした。5歳(年中組)になった時、母方の祖母が初代園長として4キロ離れた隣村に開設した村立保育園に徒歩で1時間かけて子供達だけで越境通園しているのを見た村長(父方祖父)が翌年には小学校の敷地内に保育園を開設してくれました。帰宅途中には必ず村役場に立ち寄り、一番奥の執務室で忙しい時間を割いて遊んでくれた祖父とのふれあい。小・中学の12年間学級委員に、小学6年および中学3年に生徒会長に推薦(当時は自分で立候補する人は皆無)してくれた同僚や同窓生、先祖の地域への熱い思いや貢献を伝えてくれる先輩、戦災前後の辛かった時に受けた恩恵を伝え聞いた子供や孫達が遠く離れた地から自宅訪問し、感謝の意を仏前で述べてくれた遠縁の

一族。江戸時代から延々と続く地域との縁とその責務の重みを肌で感じてきた私(達)の宿命は、今後も世代を経て受け継がれることになるでしょう。

医療と私(達)

生誕の地に開業して27年(9月)になります。私の医療に対する思いは「医療はすべからず地域医療である、若月俊二」です。したがって、開設時より「病気を治す治療中心」の医療から、「病気にさせない・重度化させない予防医療、生活を支える・家族支援を考える医療」をめざしました。そのために、開院時より予防医療・リハビリ・在宅医療を看護師・鍼灸マッサージ師・柔道整復師とチームを結成して実行してきました。その合言葉は Simple, Small, Safety, Speedy, Smart, です。地域を支えるには必要最小限の



インフラが必要であることも平成6年の北欧の福祉視察で実感しました。その後は、地域に必要なものを身丈に合わせて逐次開設してきましたが、最近、子どもが望んできた本格的な在宅医療・地域医療が他施設や多職種連携のもとにできる時代になってきたと、わくわくしています。

少子超高齢社会は支え合つもの

いつまでも心身ともに健全で、経済的に豊かで、家族にも恵まれている人(おとしより)はいない。少子高齢社会では、一方的に支えられる人も、一方的に支えている人もいない。誰でも何かが欠けて誰かに補ってもらおう、補ったその人も誰かに欠けている部分を補ってもらい、さらに補った人もまた誰かにお願ひする。たとえ、寝たき

診療報酬改定(2014) 介護報酬改定(2015) が意図とするもの

当面我々がめざすものは新たなケア付きコミュニティ(地域包括ケアシステム)であり、今回の診療・介護報酬の改定はその工程表を具体的に公表し、その確実な実行を関連業者に強制していると考えられます。さらに、この4月の介護報酬改定では良質なサービスを効率良く(低コストで)提供する知恵を我々に求め始めています。3年

りで言葉がでなくても、そこにいてくれる存在で救われる人がある。この様に、互いに支え合って生きていく社会にこそ自分の存在感と出番がある。ほんの少しだけ誰かに支えてもらえれば、2倍3倍人を支えられる能力を持つていられるおとしより(要支援・介護1・2)の居場所・出合いの場づくりを本格的に地域に何力所も作ろうと私たちは計画し・実行しています。そして、その一部である「多世代交流による子育て支援活動」が内閣府の「子どもと家族・若者応援団表彰」子育て・家族支援部門で25年度内閣総理大臣表彰を受賞しています。

後(2018)の同時改訂は、2025年に向け医療・介護の壁をより低くし、効率化を最も重視した体制づくりの最後通知になると私は予想しています。医療もさらに深く地域を巻き込んだ体制づくりで、医療も介護も究極的に地域と融合していくことになると思います。

実践交流会座長として

10月11日の第21回全国の集い in 北海道2015の『実践交流会9・教育』では地域・ご利用者・家族、他事業所・多職種などへの関わり方、自事業所のスタッフ教育などについて管理者・事業経営者の視点から事例発表や悩みなどを討議したいと思えます。

その直前のランチョンセミナーから同じ視点でじっくり話したいと思えますので興味ある方は是非演題発表や質疑にご参加ください。

次回は検討中です。

演題募集始まりました。

実践交流会の演題募集が始まりました。

既に皆様のお手元には『第21回 全国の集い in 北海道2015 演題募集要項』が届いている事と存じます。当ネットワークの特徴の一つである『実践交流会』は言うまでもなく皆様の日頃の活動報告で成り立っています。

7月7日(火)の登録締め切りまで、後わずかです。今回も是非発表を頂きたいお願い申し上げます。又、昨年に「フォローアップ」として推薦された方々におかれましては本年も宜しくお願い申し上げます。

実践交流会カテゴリー

1. 緩和ケアと看取り

座長 中嶋 啓子 医療法人啓友会 なかじま診療所
阿部 泰之 旭川医科大学病院
緩和ケア診療部

2. 認知症

座長 大澤 誠 医療法人あづま会 大井戸診療所
西村 敏子 北海道認知症の人を支える
家族の会

3. 訪問・通所サービス

座長 岡崎和佳子 有限会社 菜の花
小野 俊也 栄町ファミリークリニック

4. 薬と生活

座長 金井 秀樹 やまと調剤薬局
古田 精一 北海道薬科大学
社会薬学系地域医療薬学分野

5. これからの地域包括ケア

座長 金田 弘子 医療法人社団もりもと
森本外科・脳神経外科医院
上田 学 新さっぽろ脳神経外科病院

6. 口腔ケアと栄養管理

座長 大川 延也 大川歯科医院
牧野 秀樹 つがやす歯科医院

7. 新しい試み

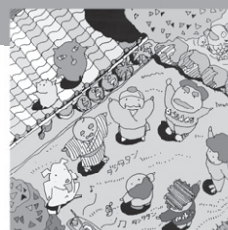
座長 福田 善晴 医療法人 大和会・社会福祉法人
秦ダイヤライフ福祉会 理事長
大杉 直美 本輪西ファミリークリニック

8. 在宅生活の継続

座長 石田 一美 秋櫻醫院
日沼 順子 室蘭市
地域包括支援センターことばき

9. 教育 ～最強の人材教育を求めて～

座長 長縄 伸幸 医療法人フェニックス
鶴沼中央クリニック
中川 貴史 寿都診療所



『第 21 回 全国の集い in 北海道 2015 演題募集要項』
大会プログラムの最新情報

先に発行された演題募集要項の訂正及び日程表に掲載出来なかった最新情報を掲載しております。(2015.6.17 現在)

※以降の変更についてはホームページ等でお知らせいたします。

表紙訂正

田村 俊英→田村 英俊

日程表 追加

アジア実践交流会

基調講演：吳 玉琴

(台灣老人福祉推進連盟理事長)

コンポジスト：游 如玉（台湾 YMCA）

HIDETO BANARES KURIHARA

生活介護 KK)

吉山 雅博（善常会リハビリテーション病院）

二日目 第2会場 午後

理事会企画 「地域包括ケアの完成を目指し

て」～病院との関係構築に付いて～

演者:山下 護(厚労省保険局総務課課長補佐)

第7会場 黒岩卓夫理事企画シンポジウム予定

第8会場 金井秀樹理事企画ワールドカフェ予定

会場変更

二日午前中

第6会場から第8会場へ「楽しく・おいしく・安全に食べるためのチームワーク～歯医者さんに相談しよう！～」

第8会場から第6会場へ 認知症の人の自律のために：認知症ケアの「論理」という視点

二日目午後

第2会場から第1会場へ「いのちを繋ぐ」～さまざまないのちの繋がり場面からひとは何を
おしえ合い、未来へ結ぶのか～

第8会場から第2会場へ「地域包括ケアの完成を目指して」～病院との関係構築について～

第1会場から第6会場へ 「ある地域での医療者の教育と育成の現状とこれから～寿都町での10年間～」



田村英俊

第1日目／10月11日(日)

[illegible]

第2日目／10月12日(月・祝)

会場名	特別会場	中ホール A	会議室 104+105	会議室 107
ホール名	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場
席数	500 名	240 名	120 名	120 名
9:00	9:00~ 理事会企画	9:00~ 【地域】	9:00~ 【支える】	9:00~ 【連携】
9:30	【不同意メッセージと ユマニチュード（仮）】	【広い！ 塞い！ 遠い！ 北の在宅医療を支える プロフェッショナル】	認知症のある高齢者の幸せな 最期を支えるには（仮）	【みんな違って みんな要 る】 終末ケアにおける 多職種協働
10:00	講師：伊東 美緒 （東京福祉医療研究開発センター 研究所・研究員）	座長：前沢 次朗 （日本在宅医療学会） 座長：宮地ひろみ （札幌市立大学看護学部） 浮田 香代子 （北海道総合在宅ケア事業団 特別地域連携推進ユニット） 専本 圭佑 （定例医療連携協議会支援相談員） 山田 康介 （更紗介護相談所相談診療所） 鎌田 智子 （羽根湖町役場健康福祉センター）	座長：高橋 順子 （天竺大学看護学系看護学 看護学専攻） 宮本 礼子 （札幌桜花明日佳病院） 武田 純子 （有限会社ライファート） 松田 諭 （栄研ファミリークリニック） 下村 美子 （認知症の人を支える事業の会）	座長：阿部 素之 （岡山県立大学） 座長：佐々木 政人 （前田クリニック） 寺澤 道雄 （株式会社札幌市グループホーム こはな） 不動 宏平 （真実歩） 佐藤 歩 （訪問看護ステーションにことじ）
10:30				
11:00				
11:30				
12:00	12:00~13:00 ランチョンセミナー 2-1	12:00~13:00 ランチョンセミナー 2-2 エーザリ株式会社様	12:00~13:00 ランチョンセミナー 2-3	12:00~13:00 ランチョンセミナー 2-4 藤村順子様
12:30				
13:00	13:10~ 【市民向け企画】	13:15~ 理事会企画	13:10~ 【育てる】	13:10~ 【連携】
13:00	【いのちを繋ぐ】～さまでまは いのちの繋がりやの繋がらひとは何 をおしえたい、未来へつぎのつづ	【地域包括ケアの完成を 目指して】 ～病院との関係構築につ いて～	「多職種で関わる卒前教育 ～一緒に話そう！ 考えよう！」	【役割を伝える、つな ぐの マインド】 ～あなただけにまが あたる場しのぎの存在を 支える専門職種～
14:00	座長：山田 康介 （更紗介護相談所相談診療所） 基調講演：島屋 一朗 （札幌福祉医療研究開発センター・更紗 病院学長・慶応大学非常勤講師） 横山 美紀 （札幌南苑会看護） 土島 智紀 （医療法人旭生会理事長・生涯 医療クリニックでまでる院長） 木置 くみこ （三井山崎生命・株式会社 らびてく代表取締役会長）	演者：三浦 久幸 （国立長寿医療研究センター・基 礎研究部長） 演者：山下 直樹 （厚労省医療局病院課院長兼地長）	司会：藤藤 正美 （北海道大学） 田村 英俊 （美都そよかぜ薬局）	座長：古田 精一 （北海道大学） 座長：小野 俊也 （栄研ファミリークリニック） 長 哲太郎 （栄研ファミリークリニック） 松 宏 （手塚眼科医務） 土井 真喜 （在宅医療推進） 播磨 孝司 （にっぽん在宅クリニック） 真鍋 智美 （キャンパスクリニック） 緒遠 宗生夫 （指定介護医療支援事務所 ディ・クリューン） 澤口 美奈 （ヘルパーステーション はばたき）
14:30				
15:00				
15:30				
16:00~ 閉会式		シンポジスト： 田田 忠志 （いらはら診療所 在宅医療部長） 吉井 敦子 （社会福祉法人 野の花会 理事長） 岡崎 和佳子 （有限会社 野の花 看護課） 中 沢 豊 （松戸市役所） 介護制度改革専門部門 垣屋 真 （いらはら診療所院長）		
16:30				
17:00				

会議室 108	会議室 206	会議室 207	会議室 101	会議室 102
第5会場 120名	第6会場 120名	第7会場 120名	第8会場 60名	第9会場 60名
9:00～ 【連携】 「地域で暮らす人を支える相互理解」～lets地域ケア会議～おしえる、でさえる、つたえる 司会：日沼 順子 (愛知県・地域包括支援センター ことばが)	9:00～ 【認知症・倫理コンサルテーション】 認知症の人の自衛のために：認知症ケアの「倫理」という視点 座長：稲葉 一人 (中央大学法政学部)	9:00～ 【連携】 地域包括ケアシステムと在宅医療連携を支える福祉専門職の役割 座長：上田 孝 (日本医師会社会政策協会理事、新さっぽろ福祉情報センター)	9:00～ 【連携】 「楽しく・おいしく・安全に食べるためのチームワーク～高齢者同士に相談しよう！～」（仮） 基調講演：袴田 秀俊 (フジテレビ報道部長)	9:00～ アジャイル実践交流会 座長：藤村 淳子 (あいひろぎ 理事)
司会：大杉 直美 (本郷西ファミリークリニック)	賛同 真子 (真岡医院 医師、東京大学医療倫理学分野)	座長：上田 孝 (日本医師会社会政策協会理事、新さっぽろ福祉情報センター)	基調講演：袴田 秀俊 (フジテレビ報道部長)	基調講演：呉 玉琴 (日本赤十字社東北地区理事 専任)
座長：奥田 龍仁 (認定NPO法人レジーナネット)	大澤 誠 (大井町診療所)	調整中 (札幌市保健局)	笠松 信幸 (かまきラボオフィス 合同会社代表)	シンポジスト：遊 如玉 (他府 NMAC)
座長：堀本 仁 (札幌西区総合医療院)	＊地元から事例提供	調整中 (札幌市介護支援専門員連絡協議会)	藤田 浩孝 (旭川市森医務会副会長)	HIDETO BANAR S KURIHARA (生活介護 若山 雅博 (療養ケアリハビリテーション病院) 医師)
丸尾 美佐 (津田病院 地域包括支援センター)		岡村 紀宏 (北海道看護専門学校ワークーカ協会 協会常務兼活動部長、顧問)	出井 聡 (札幌市西区在宅ケア連携 代表理事)	
岩永 輝明 (ライフフィットはびる)				
他 調整中				
12:00～13:00	12:00～13:00	12:00～13:00	12:00～13:00	12:00～13:00
ランチョンセミナー 2-5	ランチョンセミナー 2-6	ランチョンセミナー 2-7	ランチョンセミナー 2-8	ランチョンセミナー 2-9
13:10～	13:10～	13:15～	13:15～	
【育てる】 地域を支えるための卒前教育と卒後教育の連携～多職種連携：在宅ケアをキーワードとして～ 座長：大滝 純司 (北海道大学)	【育てる】 「ある地域での医療者の教育と育成の現状とこれから～寿都町での10年～」 座長：中川 貴史 (寿都診療所)	黒岩寿夫理事企画 シンポジウム (予定)	金井秀徳理事企画 ワールドカフェ (予定)	
座長：香 康弘 (北海道医療大学)	奥山 盛 (和東町長)			
川田 恵 (札幌市保健局)	西 弘美 (帯広市医師会)			
川添 恵理子 (北海道医療大学)	宮本 久美 (南都診療所看護部長)			
鈴木 英樹 (北海道医療大学)	今江 昭宏 (寿都診療所フェロー)			
下倉 賢士 (ホムケアカリニック札幌)				
七尾 キヨ子 (ヘルムーステーション はばたき)				



プレ大会 報告

<旭川>



旭川プレ大会「ケア・カフェあさひかわ」

去る6月4日(木)、旭川市市民活動交流センター(CoCoRo)大ホールにおいて『第21回全国の集いin北海道2015』旭川プレ大会がワールドカフェ形式で開催されました。『プレ大会報告書』の成果報告より引用させていただきます。

『地域を支えるための育てあい』

医療、介護、福祉など80名の方々が集まり、情報共有や事例のカンファレンスだけでは語ることの少ない「多職種種からの学び」をワールドカフェ形式で開催されました。

本大会テーマにリンクすることと、多職種協働と多職種教育についてフラットな対話の場づくりを目指しました。

どの職種でも必要となる教育にフォーカスしつつ、いかに支え合うかのディスカッションを約2時間行いました。

各グループ、全員が発言することをルールとし模造紙に記入しながら熱い議論がなされました。

後半には、数グループから発表、大会テーマにリンクした内容から松井実行委員長がスライドを用いて本大会

への広報へとつなげ、チラシも配付。参加者から大変興味を持っていただきました。

また、次回大会地の鹿児島・吉井様もいらっしゃっていたので、続けて挨拶もしていただきました。さらにワールドカフェ形式が開けた環境のため、意見が出やすくとても良いコメントをいただき、盛会裏に終えることができました。本大会への良いステップとなったことは間違いなく感じる手ごたえのある会でありました。



フィリピン訪問に思うこと…

桑原由次 事務局次長

3月19日～22日、フィリピン・ルソン島・南カマリネス州・ナガ市を訪問しました。苛原会長が「風の萌」028号で提唱された「アジア国際交流事業提案＝スカラシップ（留学生支援のために奨学制度）」実現のための視察と州関係者との打ち合わせのためです。今回はこの訪問報告ではなく、フィリピンやアジアに対する「思い」を書かせていただきます。

皆さんは、フィリピンという国にどのようなイメージをお持ちでしょうか？

フィリピンは、第2次世界大戦終了時のアジアでは最も豊かだったといわれた国でした。その後「アジアの病人」と揶揄されていた歴史は長く、日本では「ジャバゆきさん」のイメージがまだ強いのではないのでしょうか。出稼ぎ大国とも言われ、年間1,000万人が海外で就労し、GDPの1割を占めています。

しかし、2014年には人口1億人を突破、経済も堅調で、一人当たりGDP約3,000ドルとなり、アセアンの中核へと飛躍しようとしています。介護や看護、高度な人材をも提供する国になりつつあります。これまでフィリピンを数度訪れましたが今回の訪問で、確実に好転してきていることを実感できました。

フィリピンでは、都市化が加速しています。都市には農村のような相互扶助機能はなく、疾病や失業のリスクを軽減する制度が必要になっています。

所得水準の低い現状では、財源や人材の不足、制度の未整備が原因となって、日本のような

年金、医療保険、介護保険など社会保障制度等を構築することは容易ではありません。

我々の滞在したホテルの客室係りの青年は、看護師資格を持つているにも関わらず、医療福祉に就職先はありません。好青年で、この訪問に参加したネットワークの理事もぜひ自分の施設で働いてほしいと発言していました。簡単に日本では働けないのが現状です。この就職難はフィリピン全体を覆っており、簡単には晴れそうもありません。働く側の需要を満たす仕事先はまだ十分ではないのです。

一方日本は、人口負荷社会①人口総数の減少②高齢化の進展③少子化の進展が変化することはありません。2050年には、総人口は9,000万人を割ることは確実です。人口負荷社会への変化に対応するには、右肩上がりの高度経済成長時代ではない視点が必要です。

この原稿を書いている6月5日付の新聞では、「2025年介護ベッド13万床不足」「東京圏高齢者は地方に移住を」が第1面に載り、同じく介護労働者は100万人が不足すると推定されています。

この状況に対応していくために「人材鎖国」と呼ばれる政策変更は不可欠であると思っています。フィリピンをはじめ近隣のアジア諸国との関係を積極的に築いていくことです。

私たちアジア人は、基層としての儒教文化があります。キリスト教徒が国民の半分を占めるフィリピンにおいても、華人ネットワークを介在して儒教資本主義が伝播され、土着の宗教、文化と微妙に懇請し合いながら成長の牽引役となっています。

社会よりも、穏やかな調和型調和型人本主義を志向する文化なのです。

しかし、やはり文化や歴史の違いは存在します。お互いに認め合いながら、互いの不足を補いあい共に栄える関係を創っていくことが本当に必要な時なのです。

最後に、老子の「混成」「両行」を紹介して終わります。

「混成」・・・異質なものを異質にままだと込んで秩序をつくりあげる生き方

「両行」・・・本来対立し拒絶しあうものでも絶対的対立と見ずに、いずれも等しく取り入れて新しい境地を拓いていく生き方



マヨン山国立公園 (ルソン島)

理事会報告

2014 年度 第 3 回

開催日：2015 年 5 月 24 日 9:00 ~ 12:30

場所：プラザ八重洲北口（東京中央区・八重洲）

出席理事：（敬称略）苛原実、藤村淳子、大澤誠、畑恒土、石田一美、桑原由次、岡崎和佳子、吉永隆行、村山善紀、井村隆、金井秀樹、大川延也、長縄伸幸、福田善晴、草場鉄周、金田弘子、吉井敦子、小林るつ子
（オブザーバー参加：楠元 寛之 様）

欠席理事：（敬称略）宮坂圭一、渋谷温之、太田秀樹、新田國夫、西嶋公子、永井康德、青木佳之、長純一、森本益雄、黒岩卓夫、萩田均司、多湖光宗、中嶋啓子、上村伯人

今回の理事会は

- 今後の会としての各種活動の元となる定款、関連規程、規則、内規等の検討・修正などを改めて検討を行い、文言を含め必要な修正。
- 現在進行中の事業活動等の報告及び検討
- 北海道大会の全体の進行状況、及び理事会企画や理事が中心となるシンポジウム等についての確認

等を行いました。これらの結果に関しては総会后に会員の皆様に対し必要な部分を改めてお知らせ致します。



北海道に 是非お越し下さい

理事会の決議・検討事項ではありませんが、草場北海道大会長より「北海道にとって季節的に素晴らしいタイミングでの開催となっており、是非観光も兼ねて参加をお願いしたい」との発言がありました。

理事会としても、実践交流会の演題募集を開始いたしました。演題登録を含め、多くの会員の方々の参加をお願いし、大会を盛り上げたいと思っております。



次回の理事会 2015 年 8 月 23 日（日）

Mail Magazine

今回は「風の萌」より医師・法人会員活動紹介のコラムの2015.6号を掲載いたしました。この記事は毎月メールマガジンの記事として皆様に配布されている記事の転載版です。(スタイル等は一部変更しています。)メールマガジンでの配信はもちろん「多くの人に」、「迅速な」、配信が目的で、メールの特徴を発揮出来るものですが、現実としてメール配信されている数は「多くの人に」というにはまだまだ充実を計る必要があります。

事務局ニュース2015・6

医師・法人会員活動紹介

「医療法人社団 泰平会

城西神経内科クリニック

理事長 石垣泰則



城西神経内科クリニックは平成2年静岡市葵区で開院した。「医療の基本は奉仕をする心、優れた医療技術、居心地の良い環境、患者様との心のふれあいである」を理念に地域の方々の信頼に応え、健康と幸福づくりを支えるべく現在まで診療を行っている。当クリニックでは外来診

療、訪問診療、リハビリテーション(外来・通所・訪問)、居宅介護支援事業所、訪問栄養、訪問介護事業所の部門を設けており、外来から在宅までシームレスな環境体制を整えている。また、相談員を配置し総合病院との調整、患者様やご家族様の医療・介護について制

度上お困りの事、在宅で療養していただくための不安や悩み等のご相談にも応じている。特に力を入れて取り組んでいる在宅医療の分野では葵区・駿河区をエリアとして、ALSやパーキンソン病の患者様を始め癌ターミナルの患者様、認知症の患者様等、当クリニックの専門性・連携体制を生かし常勤3名、非常勤10名、合計13名の医師団で診療している。訪問診療での患者様は約450名、昨年度の在宅看取り人数は67名であった。

また、強化型在宅療養支援

診療所として「静岡ドクターズネットワーク(当クリニック、小澤内科胃腸科、東静岡クリニック、ときわ公園クリニック)」を組み、訪問看護ステーションとの連携も取りながら静岡市のより幅広い地域で安心できる在宅医療の体制作りにも積極的に取り組んでいる。

さらに、平成27年1月にNPO法人静岡難病ケア市民ネットワークが主催する難病カフェ「ソワニエ」のオープンをお手伝いさせていただき、協力関係を築いている。

同法人では難病患者様の外出支援を中心とした社会参加促進事業等の活動を平成16年より行っており、ソワニエでは難病患者様やご家族様の情報共有、憩いの場としてご好評をいただいている。

今後多くのお客様が住み慣れた地域で最期までお過ごしただけできるよう、微力ながら静岡の在宅医療を支えていきたい。

医療法人社団 泰平会
城西神経内科クリニック
〒420-0061
静岡県静岡市新富町5-7-16
TEL: 054-273-7000
URL: <http://johsai-clinic.jp/>

プレ大会 予 告 ＜十 勝＞

今秋の『全国の集い in 北海道 2015』に向けた動きがいよいよ本格的に始まりました。6月4日(木)、旭川プレ大会が開催に続き7月17日(金)に新得町においてとかちプレ大会が開催されます。

医療・介護関係機関のみならず地域みんなで協力し合うケアを通じた「街づくり」は北海道大会のテーマの一つとなっています。

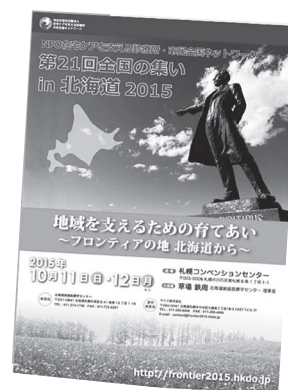
NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
第21回 全国の集い in 北海道 2015 とかちプレ大会

日 時：7月17日(金) 18時00分～20時30分
場 所：新得町

参加対象者：どなたでもご参加 OK ※当日参加 OK 参加費無料

★スペシャルセミナー
家庭医学のエッセンス
～あなたのファミリーとして、在りつづきたい～
北海道家庭医療学センター理事長 草場 鉄周さん

★地域実践報告・座談会
地域医療・地域福祉の視点から
「この町で暮らして良かったと思えるように」
・みやざわ循環器内科クリニック(鹿追町) 医師 宮澤 一裕さん
・新得町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 小田島 洋樹さん
・地域密着型せせらぎ荘(清水町) サービス管理責任者 鈴木 康功さん
・足寄町国保病院 医療ソーシャルワーカー 寺本 圭祐さん



第14回 西十勝地域の輪

とかち大好き！地域還元感謝祭 其の一
～この町で暮らして良かったと思えるように～
NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
第21回 全国の集い in 北海道2015 とかちプレ大会

日時：7月17日(金) 18時00分～20時30分
会場：新得町
参加対象者：どなたでもご参加OK ※当日ご参加もOK 参加費：無料

★スペシャルセミナー
家庭医学のエッセンス ～あなたのファミリーとして、在りつづきたい～
北海道家庭医療学センター理事長 草場 鉄周さん

★地域実践報告・座談会
地域医療・地域福祉の視点から「この町で暮らして良かったと思えるように」
・みやざわ循環器内科クリニック(鹿追町) 医師 宮澤 一裕さん
・新得町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 小田島 洋樹さん
・地域密着型せせらぎ荘(清水町) サービス管理責任者 鈴木 康功さん
・足寄町国保病院 医療ソーシャルワーカー 寺本 圭祐さん

問い合わせ：医療法人 前田クリニック 090-7645-5932 佐々木 <https://www.facebook.com/nishi.tokachi>

問い合わせ：医療法人 前田クリニック 090-7645-5932 佐々木 <https://www.facebook.com/nishi.tokachi>

活動予定

鹿児島準備会
平成27年6月27日(金)
場所…鹿児島市

とかちプレ大会
平成27年7月17日(金)
場所…新得町

第4回理事会
平成27年8月23日(日)
場所…東京都

第21回 全国の集い in 北海道 2015
平成27年10月11日(日) 12日(祝)
場所…札幌市

福祉玩具学会 設立15周年記念大会

シンポジウム：『15年間の実績について』
記念講演：『これからの、玩具福祉会は』

日時：平成27年7月5日 日曜日
会場：公益財団法人 国際文化会館 講堂
〒106-0032 東京都港区六本木 5-11-16
Tel：03-3470-4611
URL：http://www.i-house.or.jp/

大会参加費：一般 3,000円
会員及び学生 2,000円

風の萌

2015年6月25日発行(第030号)

頒 価：1部50円 会員は無料

◆ 発行 特定非営利活動法人(NPO)
在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

TEL:052-848-8800 FAX:052-848-8801

<http://www.home-care.ne.jp/net/> E-mail:zenkokunet@home-care.ne.jp

〒458-0007 愛知県名古屋市中区栄山3-119 カーサフクシマC-32号

◆ 編集「風の萌」編集委員

∞∞∞編集後記∞∞∞

夏が目前です。徐々に蒸し暑くなる季節になりました。皆様は如何お過ごしでしょうか。

季節の変わり目は体調を崩しやすくなる季節です。会員の皆様も体調管理には十分に置きお付け下さい。

東京事務局 犬童